

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-510494 (P2005-510494A)
 【公表日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-016
 【出願番号】特願 2003-537585 (P2003-537585)
 【国際特許分類第 7 版】
 A 6 1 K 7/06
 【F I】
 A 6 1 K 7/06

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

0.01 Hz 及び 25 で 110 Kpa・s - 500 Kpa・s の粘度を有している少なくとも 1 つのシリコーンブロックコポリマーを少なくとも 1 つのヘアコンディショニング剤と共に含んでおり、組成物がシャンプー組成物でないことを特徴とするリーブオン型美容組成物。

【請求項 2】

0.01 Hz 及び 25 で 110 Kpa・s - 500 Kpa・s の粘度を有している少なくとも 1 つのシリコーンブロックコポリマーを 2 - 30 重量 % のエアロゾル噴射剤と共に含むことを特徴とする美容組成物。

【請求項 3】

更に、ヘアコンディショニング剤を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

ヘアコンディショニング剤が 0.01 - 10 重量 % の量で存在するカチオン性ヘアスタイリングポリマー及び / または 0.1 - 5 重量 % の量で存在するカチオン性界面活性剤を含むことを特徴とする請求項 1 または 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

シリコーンポリマーが 0.01 - 10 重量 % の量で存在することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

シリコーンポリマーがポリマー鎖の少なくとも一端で 2 - 6 個の炭素原子を含有するアルケニル基で終結していることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

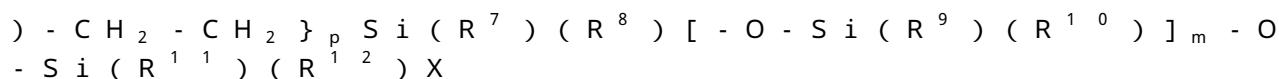
【請求項 7】

シリコーンポリマーが、末端の各々でケイ素原子に結合した式 (CH₂ - CH₂) の基を少なくとも 1 つ含んでいることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

シリコーンポリマーが式：

$$X \{ (R^1) (R^2) Si - [O - Si (R^3) (R^4)]_n - O - Si (R^5) (R^6)$$



を有しており、式中の、

X 及び X が独立に H またはビニル ($\text{CH} = \text{CH}_2$) 基を表し；

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 及び R^{12} が独立に、1 - 12 個の炭素原子を有しているアルキル基を表すか、アリール基またはアラキル基を表し；

n 及び m の各々が独立に、5 - 10000、好ましくは 50 - 5000 の範囲の正の整数であり；p が 1 - 100 の範囲の正の整数であることを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

シリコンポリマーが 0.01 Hz 及び 25 で 110 Kpa・s - 300 Kpa・s の粘度を有していることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

ヘアスタイリング組成物であることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

エアロゾルムースの形態であることを特徴とする請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

0.1 - 10 重量% の非イオン性界面活性剤を含むことを特徴とする請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

0.01 Hz 及び 25 で 110 Kpa・s - 500 Kpa・s の粘度を有しているシリコンポリマーを含むリーブオン組成物を毛髪に塗布することを含む頭髮の手入れ方法。

【請求項 14】

毛髪を所望の髪型またはスタイルに形成する段階を含む毛髪のスタイリング方法であることを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

シリコンポリマーを請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物の形態で毛髪に塗布することを特徴とする請求項 13 または 14 に記載の方法。